

令和2年度農林水産技術会議開催結果

自然環境保全センター

開催日	令和3年3月10日 ～3月23日	開催場所	自然環境保全センター（書面開催）
部会名	研究成果評価部会		
評価課題	革新的技術による無花粉スギ苗木生産の効率化と無花粉品種の拡大		
評価委員	国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター 育種部長 国立大学法人新潟大学大学院自然科学研究科 准教授 神奈川県山林種苗協同組合 専務理事		
評価概要	<p>1（1）の研究成果の評価について 得られた研究成果について各委員より高く評価された。研究計画で目標と掲げた内容を達成しそれ以上の内容を実施していること、無花粉ヒノキについて、社会的な意義も含め高く評価された。また技術的な工夫や品種登録出願につながった点も評価された。花粉症対策の社会的意義から、無花粉スギの検定の効率化、無花粉ヒノキの実用化について評価された。</p> <p>（2）研究成果の普及について 無花粉スギの成果として、学会誌にマニュアルを公表したこと、ヒノキについて品種登録出願、所内報への報告、その他マスコミ等の対応等を評価された。さらに実務的な観点から、無花粉スギが目標とした1万本まで出荷できるようになった点を評価された。</p> <p>2 研究推進上の助言について 雄性不稔ヒノキの作出のための今後の研究に期待する旨の意見があった。無花粉スギ増産のための更なる効率化に期待する旨の意見があった。</p> <p>3 その他 無花粉スギの発現率の向上、無花粉ヒノキの単一のクローンの問題が提議された。自由意見としてメール開催のため議論ができなかった点について問題提議があった。限られた人員で他機関との連携により問題解決を図っている点について評価された。</p>		